

町頭地域の道路整備を



内田 芳博議員

内田芳博議員 この地域は、国道が公民会中央を通過し、その両脇に点在する公民会で、丘陵地のために戦後道路整備の充実が遅れた地域である。そのため生命と財産を守る立場と、生活環境の改善等の遅れは厳しいものがある。よって、その実態を克服するために、ナフコの裏から秋葉公園付近、田宮之城町中学校跡地を通して、信教寺までの約五〇〇メートルの道路整備を急ぐべきと考えるが。

必要性は十分認める

北村町長 質問の路線は現道路部分が約二〇〇メートル、新設部分が約三〇〇メートル

と思われる。国道より五〇メートルから一〇〇メートルに近接しており、周辺では急傾斜地崩壊対策事業等も実施されており、この事業等の調整の必要性もあると思われる。従って事業計画については、町の総合振興計画等の上位計画や現在進めている継続路線との整合性や厳しい財政事情等を考え、必要性は十分理解しているが、今しばらくは厳しい状況を理解していただきたい。

実現性について

内田（芳）議員 現在、屋地区では、道路河川崩壊対策事業等の公共事業が、五か所で取り込まれている。その工事の二、三か所が完成した後、この路線を優先的に取り組むべきと考えるが。

中央は国道部分（裏の部分が要望箇所）



緊急性・

重要性は認める

町長 必要性は十分あるというふうに考える。やっぱり、一番先に緊急性というのは安全性、人命の安全、これを背かされるというところを、一番先にしなければいけないだろうというふうに思っている。それから重要性、多くの人たちが通っていく道路だということ、そしてまた、効率性とも考えた予算配分、あるいは道路行政をしていかなければならない。そういうところで、緊急性を判断をしていかなければいけないと考える。そのようなことから、必要は認めるが、今、その次に、2、3本あるそれが済んだその後、ということ、引き受ける、この前言ったじゃないかということ、追求されると困るので、このような必要性が議員のほうから出たということは頭におきながら、今後も対処していきたい。